

# 信州諏訪温泉泊覧会 「ズーラ」って？



富士見町的全議員で作る議員勉強会、12月には「信州諏訪温泉泊覧会『ズーラ』実行委員会」の実行委員長、松坂雄一氏ら3名をお招きして、この秋取り組まれ好評を博した「ズーラ」の内容、今後の課題などについてお話を伺いました。

## ◇ 「ズーラ」とは…

「ズーラ」は、従来の旅行スタイル、団体型旅行から個人型旅行への嗜好の変化、趣味趣向の多様化などに対応して、地域ならではのメニュー「着地型旅行商品」を開発、販売し、画一的な旅行から選ばれる観光地づくりを目指すものです。

## ◇ 「ズーラ」の経緯

助成金・交付金を活用した事業です。地域の「宝」を活用した活性化事業として、先進地事例「別府オンパク」を参考に、07年「諏訪観光産業活性化会議」を立ち上げ、08年に湖周3市町でスタートしました。今年度は諏訪6市町村圏域まで拡大し、10月24日から11月15日まで実施された事業です。

## ◇ 各種プログラムの実施まで

まずプログラムを募集します。そして実行委員会の指導も得て、プログラム内容を完成させ、ガイドブック・ホームページを作成します。

プログラムには、日時・料金のほか、最少催行人員と定員などが掲載されます。

## ◇ 富士見町からも参加しました

富士見町からは、古代米・ルバーブなどを栽培する4グループが参加、多くの参加者があり好評を得たそうです。

## ◇ 今後の課題

集客力のある体験プログラムの開発、通年を意識した体験プログラムの整備、宿泊が伴う体験プログラムの開発、これらを実現する実行組織の確立などが課題とのことです。

富士見町も、町の観光による「まちづくり」「ひとづくり」のため、更なる協力を依頼されました。



## —— 西伊豆町議会と交流 ——



姉妹町の西伊豆町とは、婦人団体、社会体育のマラソン大会、特産品の販売など、幅広い交流が行われています。

議会でも隔年ごとに交代でお互いの町を訪問し交流してきましたが、昨年度からは毎年交流会を行っています。今年度は11月17～18日の両日、西伊豆町を訪問しました。

西伊豆町議会は、昨年4月の改選で前議長が町長となり、交流会では、町づくりや地域活動などについて話しが尽きませんでした。また、12月には当町から各保育園と小学校にクリスマス用のもみの木が贈られたとのことで、大変喜んでいただきました。

今後も両町の親睦と発展のために交流を深めていきたいと思います。